

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	学童支援ゆめの樹		
○保護者評価実施期間	2025年 1月15日		～ 2025年 2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 1月15日		～ 2025年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方との子どもの様子についての把握や相談等に対する対応が行うことができている。	その日の子どもの様子だけではなく、日常的に子どもの家庭、学校での様子などを共有するようにし、子どもの姿を事業所内だけの姿として捉えないように努めている。 また、子ども、保護者の情報を職員間で共有、検討することで支援の方向性を一致させていけるようにしている。	保護者の方へ特定の職員だけが対応するのではなく、事業所全体の職員が関係を構築できるように努める。 事業所内だけの共有や検討にとどめるのではなく、必要に応じて関係機関との連携や関係づくりを行うようにする。
2	子どもの支援に対する理解を持ちながら実践プログラムの作成を行うことができている。	日々の活動内容について、事前の打ち合わせや内容についての検討を行うことができている。 職員の視点だけでなく、子どもの気持ちや考えを尊重する中で自己選択、自己決定を行っていけるように努めている。	子どもの発達や実践に関する研修の機会と内容理解を深め、より、専門的な視点からの支援の実施を行っていけるようにする。 活動を通して、より集团的視点を取り入れ子ども同士のかかわりの場を広げられるようにしていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方との交流の機会が少ないこと。	地域の児童クラブ、児童館、地域の子どもと限定した場合、交流の機会が少ないが公共施設での利用の際の交流、活動を通じた地域の方との交流は行っているため、地域の方との交流の機会や方法について職員間で検討をしていきたい。	事業所としては、地域を児童クラブと限定せず幅広い世代の方との交流の場や機会づくりを行うことで放課後の場や取り組み、子どもたちのことを知ってもらえるようにしていきたい。
2	SNS等を使用した情報発信について、事業省内の環境が整備されていないため取り組みが行えていない現状がある。	ICTに対する取り組みは進めているものの、設備や事業所に合ったものが見つかっていないため、今後も取り組みを前進させていくためにも検討を行っていきたい。	ICTの活用に関する検討を進め、取り組みを前進させる。法人の活用しているものを事業所でもしよできないか検討を行う。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童支援ゆめの樹

公表日 2025年2月27日

利用児童数

24人 2025年2月28日

回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	0	1	0	先生方が工夫していると思う。	定められた人員基準の配置を行い対応を行っています。子どもの姿や様子を他の事業所と共有するための人事交流を行うことも行っています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1				子どもの状況や活動に応じて空間の利用に勤めておりますが、感染症対策による換気により、室内の温度が下がってしまうことがあるため、配慮していきたいと思っております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1				専門的知識を深められるように事業所内外の研修等には参加しておりますが、今後も専門性を高められるように努めていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13				1	個別支援計画に対する説明を保護者の方一人ひとりに内容を含め説明しているように努めていきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13				1	個別支援を含め、子どもの情報については、職員間で検討、共有を行っているようにします。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13				1	おたよりや子どもの意見を取り入れた活動を行っておりますが、内容や目的を含めた周知を行っています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7	2	2	3	放デイの会う子ども以外との交流はほぼない。	同法人の他の事業所の児童との交流の機会がありますが、児童クラブや地域との交流は不足しているため、機会づくりを検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	1		2		利用契約時に説明を行った上で、質問事項等あれば随時回答を行ってまいります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12				2	個別支援計画の作成後に内容についての説明を行っておりますが、不明な点については、随時回答できるようにします。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12				2	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	14					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13				1	親の会の開催や親子合同行事の設定をお粉ながら、事業所の活動を見る機会や保護者同士の交流の機会を設定していますが、きょうだい児までを意識した取り組みにはなっていませんでした。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1		1	※未回答 1	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13				※未回答 1	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1	1	1	※未回答 1	毎年、法人ホームページにて情報の公開を行っていますが、法人の公式LINEなども使用しながら詳細について案内できるようにしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13				※未回答 1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1		2	※未回答 1	マニュアルの作成を行い、訓練等を行っていることを保護者の方に周知して行きたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1		3	※未回答 1 他の事業所でされているので、行われているとは思っている。	マニュアルの作成を行い、訓練（避難訓練含む）等を行っていることを保護者の方に周知して行きたいと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12			2	※未回答 1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	2			※未回答 1	事故等（怪我等含む）が起きた場合は、保護者への連絡、説明を行い、治療等必要な処置を行っております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13				※未回答 1	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13				※未回答 1	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				※未回答 1	

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		学童支援ゆめの樹		公表日		2025年 2月 27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもが個室も含め利用しやすいように荷物沖などの写真による提示などを行っている。	建物の劣化により、修繕が必要な個所がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃を行い、清潔な空間を維持できるように努めている。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		メインスペースを中心に子どもの状態に合わせた個室の利用ができるようになっている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		子ども、保護者等に関する情報を職朝等の場で共有し、必要に応じた対応ができるようにしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年のアンケートについて、職員へ共有・公表を行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職朝や研修など職員が提案、改善を行えるように努めている。	議題によって意見の発信をする人に偏りがでてしまうことがあるためどの立場の職員も発言の機会を持てるようにする。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現状としては第三者による外部評価は受けていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内研修、他園との合同研修、法人研修、外部研修と職員が研修を受ける機会を確保している。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムの共有を行った上で、公表を行っている。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		個別面談だけでなく、必要に応じた面談の機会を作成しており、職員とも共有を行いながら作成を行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別面談だけでなく、必要に応じた面談の機会を作成しており、職員とも共有を行いながら作成を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		必ずしも子どもが適応できるかどうかを評価基準としていない。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		保護者や子どものニーズを前提にそれぞれの子ども状況や家庭状況に合わせて、職員で支援内容について検討を行い計画を作成している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		その日の活動やねらい、配慮事項等を職員間で共有して取り組みを行っている。	子どもによって学校の下校時刻が違うため、活動プログラムを計画しにくいことがある。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前についてはその日の活動に応じた打ち合わせや子どもの状態把握を行いながら取り組むようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			行えるように努めてはいるが、勤務時間の関係で行えない場合がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子ども自身が活動の提案、選択をできる機会をつくる工夫を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		可能な場合は自発管だけでなく、他の担当職員も含めて参加できるようにしている。	学校との連携会議の場合、支援時間と重なるため、職員の同行調整が難しい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			学校によっては、情報交換をする時間をつくるのが難しい先生もいる。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		児童発達支援の職員の方や相談支援員を踏まえ、子どもの姿や情報把握を行うように連携会議の設定を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			地域の公園等での交流などはあるが、交流の機会がなくなっている状況がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			協議会には参加しているが、参加していることや研修内容について周知ができていなかった。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
保護者への	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもの支援についての提案や説明を保護者に行った上で、子どもへの支援を行うようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		事業所への迎えを保護者に行ってもらうことで、日常的に子どもの姿の共有や保護者の相談に対応できるようにしている。	
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		親子合同行事や親の会の開催を定期的に行っており、保護者同士の交流や活動企画、情勢の学びの機会をつくっている。	きょうだい同士の交流の場はつくりだしていない状況がある。	

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		法人行事を通じた地域の方との交流はあるものの、事業所単独での取り組みは行っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		事業所単独ではなく、エリアごとの事業所を設定し、その中で、研修や訓練を行うようにしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			実際の対応等については、行っているが、保護者に対して、作成してある計画の周知が行き届いていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所で起きたことを他の事業所とも共有し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				